

頁	行	誤	正
30	問 6.4 上から 2 行目	1 個の光子のエネルギーはいくら か？ また波長はいくらか？	1 個の光子のエネルギーはいくら か？ また <b>振動数</b> 、波長はいくらか？
66	16.1 下から 4 行目	いわゆるコロナホールからは高速 ( $\sim 400 \text{ km s}^{-1}$ ) だが	いわゆるコロナホールからは高速 ( $\sim 700 \text{ km s}^{-1}$ ) だが
108	ページ上から 11 行目	超新星爆発により、外層は宇宙空間 に激しく吹き飛ばされ、 <b>中心部には 中性子星 (neutron star, 半径<math>\sim</math> 10 km, 平均密度<math>\sim 10^{15} \text{ g cm}^{-3}</math>) が残るが、場合によってはブラック ホールが形成されることもある。</b>	超新星爆発により、外層は宇宙空間 に激しく吹き飛ばされ、 <b>中心部には、 <math>M &lt; 40M_{\odot}</math> の場合は中性子星 (neutron star, 半径<math>\sim</math> 10 km, 平均密度<math>\sim 10^{15} \text{ g cm}^{-3}</math>) が、<math>M &gt;</math> <math>40M_{\odot}</math> の場合はブラックホールが形 成される。<sup>*11</sup></b>
108	脚注追加		<sup>*11</sup> $40M_{\odot}$ というのはまだ未確定。 $30 \sim 40M_{\odot}$ 程度と考えられている が、現在論争中である。
108	ページ上から 15 行目	“かにパルサー” は、 <b>最初に発見され た中性子星として有名である。</b>	“かにパルサー” は、 <b>最初期に発見され た中性子星の一つで、超新星爆発 と関連づけられた最初の中性子星と しても有名である。</b>
109	図 25.2		(右の図を参照)
115 ~ 117	27 上から 5 行目	27.4 27.5 (※項番号違い、以降も同様)	27.1 27.2
117	27.6 下から 2 行目	HR 図と同じスケールで表 27.1 の	HR 図と同じスケールで表 27.2 の
180	41 上から 4 行目	新星が輝く原因は白色矮星表面の	新星が輝く原因は白色矮星表面 <b>での</b>
180	41 上から 5 行目	超新星の原因は、星全体の <b>核融合爆 発</b>	超新星の原因は、星全体の <b>爆発</b>
250	(56. 8) 式 左辺	$\cos h \sin A =$	$\cos h \cos A =$
250	問 56.5 1 行目	変換式は (56.1) 式に	変換式は (56.3) 式に
255	付表 5 上から 17 行目	太陽 赤道半径の数値 $6.690 \times 10^8 \text{ m}$	太陽 赤道半径の数値 $6.960 \times 10^8 \text{ m}$
258	付表 13 原子番号 56	バリウム記号: <b>Ra</b>	バリウム記号: <b>Ba</b>
279	略解 上から 2 行目	問 6.2 : $8.01 \times 10^{-16} - 1.92 \times 10^{-15} \text{ J}$	問 6.2 : $8.01 \times 10^{-17} - 1.92 \times 10^{-15} \text{ J}$

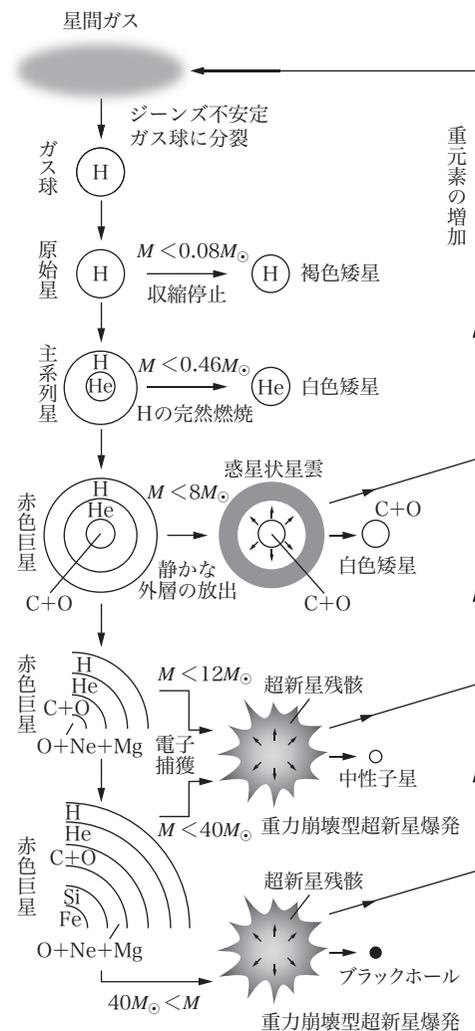


図 25.2 星の進化の模式図。質量による進化とその内部構造の違いを模式的にまとめたものである。